

会報

全国国公立幼稚園・こども園長会



主な内容

第六十八回総会・研究大会
(大阪大会) 報告
各部・委員会報告

国公幼の

存在意義と使命

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 関 美津子



九州北部豪雨において犠牲になられた方に哀悼の意を表すとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

さて、六月九日に大阪市で開催されました総会で、今年度の事業計画が承認され、平成二十九年度の全国国公立幼稚園・こども園長会の事業が本格的にスタートしました。今年度は役員改選期ではありませんが、ご勇退により会計監査の方が新しく就任しました。

全国の理事や会員の皆様のお力添えをいただき、本部役員一同、幼児教育・保育の充実・発展のために、精一杯努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

国公幼の存在意義と組織の強化

本会は、昭和二十五年十一月に、京都市明倫小学校講堂において発足の第一回総会が行われ、全国国公立幼稚園長会（平成二十七年より、全国国公立幼稚園・こども園長会）がスタートしました。結成からこれまで幼児教育の充実・発展のため、真摯に研究・研修・実践を重ねて、その教育を前進させてまいりました。また、幼児教育・保育の条件整備のために、力を注いできています。

幼児教育・保育が社会全体で論じられるようになった一方で、各地域・園を取り巻く環境は厳しさを増しています。状況の変化を受け止めながら、本会が、全国組織だから「できることは何か」「やらなければならぬことは何か」を改めて問い直すとともに、今後の国公幼の在り方をブロック会長会で検討し、組織・運営の改善を図ってまいります。

本部として、国等の関係諸機関へ幼児教育・保育の質を維持・向上させるための環境整備や、教職員「働き方改革」にも大きく影響する教職員の配置・処遇等、諸

課題の解決に向けての働きかけを行い、全国で行われる研究、研修等の企画や支援を充実させてまいります。皆様におかれましては、国公幼の目指す幼児教育・保育を、自信をもって実践し、保護者、地域、行政に発信・理解を促していくことが、本会の存在意義を明確にすることになり、組織の強化につながります。地域の幼児教育・保育のリーダーとして、力を発揮されることを期待しています。

新幼稚園教育要領等の実施に向けて

来年度から本格実施される新幼稚園教育要領等について、理解を深める研修は進んでいるでしょうか。従来私たちが実践を深めてきた「環境を通して行う教育」「遊びを通しての総合的な指導」は維持されます。新たに明確化された「幼稚園教育等で育みたい資質・能力」は、幼児期から高等学校まで一貫した教育の方向性を示し、幼児期の学校教育の重要性が更に明確に位置付けられたものと考えます。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、幼児教育と小学校の教育の円滑な接続のための手がかりとなる事項です。一つ一つ丁寧に読み解き、交流・連携から円滑な接続に向けての取組を進めていくことが求められています。

新幼稚園教育要領等に基づいた質の高い教育・保育実践を進め、成果を広めていくことが、教育・保育全体の質向上につながります。国公幼の使命として努力していきましよう。